

ハッピー子育て



みなさん、こんにちは！先日、私の授業に児童養護施設の職員さんや里親さんをお招きしました。授業中はとても静かで、質問もあまり出ず、「もっと引き出せたのでは」と申し訳ない気持ちになりました。けれど、後日提出されたレポートには、びっしりと感想や疑問が書かれていて、学生たちなりにしっかり受け止め、深く考えていたことが伝わり、嬉しくなりました。気持ちや言葉はその場で表に出ないだけで、心の中ではたくさんの方が動き、生まれていたんですね。人の中にあるものを引き出すのは、なかなか難しいですね。



☆読み手☆
鈴木 裕美 (すずき ひろみ)
香川大学医学部 小児科専門医

66

ほめること
訓練必須のスキルです
見つけよう 透明な花に
ことばで色づけ



65

だめだしは
反射行動 誰でもできる
あれだめ これだめ
まちがいさがし



今月のかるた解説

人は本能的に「危険」や「間違い」を見つける能力が強く、瞬時に気が付き、指摘したくなるようで、それを「間違い指摘反射」と言います。ですから、親子間でも、夫婦間でも、もちろん先生と生徒の間でも、この「間違い指摘反射」は活発に発動し、「しつけ」「指導」「善意」の名のもとに、ダメ出しが正当化されています。うんざりしたり、反発すると、その言動に対してさらなるダメ出しが追加射撃されるので、殺伐とした環境の中、下を向いて息をひそめたくなくなってしまいますね。

その逆に「いいところ」を見つけるのは本能ではないので、訓練が必要です。いいところは生活の中に溶け込んで見えなくなる花のようなものです。透明な花を見つけ、言葉で色をつけ、花束にして本人に手渡す。それがほめるということではないでしょうか。「あなたのこんなところが素敵だね」「こんなこともできるようになっただね」「ありがとう」花束を受け取ると誰もが嬉しくなり、自分の中の花束をもっと増やしたいと頑張りたくなる。そして、周りの人にも透明な花に色を付けて渡したくなる。そんな花畑が家庭にも学校にもあると素敵ですね。最後まで読んでくれて、ありがとう！

